

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を実践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1472601317
法人名	特定非営利活動法人 シオン相模原
事業所名	特定非営利活動法人 グループホームシオン相模原
訪問調査日	令和2年9月4日
評価確定日	令和2年10月6日
評価機関名	株式会社 R-CORPORATION

○項目番号について
 外部評価は20項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [次ステップに向けて期待したい内容]
 次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

令和2年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472601317	事業の開始年月日	平成12年12月1日
		指定年月日	平成26年12月1日
法人名	特定非営利活動法人 シオン相模原		
事業所名	特定非営利活動法人 グループホームシオン相模原		
所在地	(252-0137) 神奈川県相模原市緑区二本松4-8-7		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	9名
		ユニット数	1ユニット
自己評価作成日	令和2年8月25日	評価結果 市町村受理日	令和2年10月9日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

キリスト教の教えに基づき、入居者中心に考え、介護にあたる。入居者のニーズに合わせ、様々な行事を行っているが、今年は、コロナウイルスの影響で、外出に制限があるため、午前中の日光浴に力を入れている。天気の悪い日は、ホーム内で体操を行い、健康保持に力を入れている。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒231-0023 横浜市中区山下町74-1 大和地所ビル9F		
訪問調査日	令和2年9月4日	評価機関 評価決定日	令和2年10月6日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

●この事業所は特定非営利活動法人シオン相模原の運営です。同法人は介護保険制度がスタートした2000年から相模原市内でここ「特定非営利活動法人グループホームシオン相模原」を開設し、その後も保育事業、障がい者支援事業を展開してきましたが、現在は高齢者グループホームと障がい者就労支援事業を運営しています。ここ「特定非営利活動法人シオン相模原」は相模原市内で一番初めに開設された歴史と実績のあるグループホームです。場所はJR横浜線「橋本駅」北口1番バス乗り場からバスに乗り「相原中央」下車して徒歩5分程の住宅街の一角にあります。また、すぐ近くには定期的にご近所体操が行われている相原児童公園もあり、利用者数名をお連れして参加しています。

●事業所では、法人の方針としている、キリスト教の教えに基づき「よろこび、平安、寛容」をケアの柱とし、様々な行事を企画・立案したり、入居者を中心とした生活サイクル、入居者の言動や行動を思いを受け入れながら支援にあたっています。また、職員の定着率も高く、職員に事業所の理念・方針が浸透しており、法人の方針・事業所の理念に沿ったケアが実践されています。管理者は、四季の感覚・社会性や健康を維持しながら、目標を持つことで入居者が生きがいをもって生活できるようにしたいという思いの基、多くの行事を取り入れることで、入居者の生きがいにつながっています。

●今年はコロナ禍の影響で、例年出かけている外出行事などが行えない環境下にあります。職員間でアイディアを出し合い、玄関先に造花を飾ってのお花見、枝付きのいちごを入居者の目線に合わせて取れるようにしたいいちご狩りを事業所内で行ったり、スイカ割り、花火など、工夫しながら四季や楽しめる行事を計画して行っています。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	グループホームシオン相模原
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
		○	3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	ホームの理念を職員全員で共有し、実践している。	開設当初に作成された理念「①キリスト教愛、よろこび、平安、寛容を基本に支援します。②住み慣れた生活を目指します。③地域との交流を大切にします。」を事務所とリビングに掲示し、引継ぎ時に確認しています。月2回の職員会議には法人の副理事長が参加され、説話を通して職員に理念や思いについて話しています。職員の定着率も高く、職員は理念を常に意識してケアにあたっています。	今後の継続	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	公園での体操（ご近所体操）やおまつり、運動会等の地域の行事に参加して日常的に交流を持っていたが、新型コロナウイルスの影響で、現時点では思うようにできていない。	自治会に加入しており、回覧板を通じて地域の情報をいただき外出支援などの参考にしています。事業所は開設当初から地域の方々に支えられ、今では「シオン相模原協力会」の方々をはじめ近隣の方からも野菜の差し入れをいただくなど、良好な関係を継続できています。高校(1校)、中学校(3校)の体験学習も受け入れています。	今後の継続	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ご近所の認知症の方の話を聴き、支援の方ともコミュニケーションをとっている。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議での意見は、職員会議で報告、サービスの向上に活かしているが、コロナウイルスの影響で、会議がしばし中止になっている。	地域高齢者支援センター、シオン相模原協力会の方々、民生委員、法人副理事長、入居者も参加していただき2ヶ月に1回開催しています。事業所の現状や活動報告を行い、参加者の方から様々な意見や提案をいただき、サービスに生かしています。現状は新型コロナウイルスの影響で開催出来ていませんが、議事録などを作成して区役所に書類を提出しています。	今後の継続	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	緑区役所、相原高齢者支援センターと連絡、協力関係を築いている。	緑区役所の担当課とは運営推進会議の議事録提出や必要に応じて連絡を取り合い協力関係を構築しています。また、高齢者支援センターとの関係も密接であり、運営推進会議に参加いただいている他、高齢者支援センター主催のサロンや音楽会に入居者をお連れして参加したり、認知症サポーター養成講座に管理者が出席するなど、良好な関係を築いています。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員会議で、身体拘束をしないケアについて話し合い、全職員で共有し、実践している。	3ヶ月に1回開催している身体拘束適正化委員会や職員会議の中で、身体拘束の指針を基に事例などを交えながら対応の仕方について話し合い、対応方法を統一して情報を共有することで身体拘束を行わないケアを実践しています。今後は身体拘束・虐待の自己点検を取り入れ、定期的に自己点検を行っていきたいと考えています。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ホーム内で虐待防止の研修を行い、各自、自覚をもって、虐待の防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者や職員が研修などで権利擁護に関する制度を理解し、活用して支援している。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居に関して、不安がなくなるまで説明し、契約する。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	平時は、運営推進会議や家族会議の機会を設け、運営に反映させている。	基本的には、家族からの意見や要望については面会時や電話連絡した際に日々の様子報告と合わせて話を聞いています。事業所のクリスマス会や家族もお誘いしている外出行事でも参加していただいた家族と話をする機会を設けています。毎年実施している外部評価のアンケート内容を運営に反映させるなど、サービスの質の向上に努めています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者や管理者と、職員との話し合いの時を設け、反映させている。	業務引継ぎ時や食事時間など、ことあるごとに職員から意見や提案を聞く機会を設け、業務や行事に反映させています。職員の勤続年数も長く、管理者と職員は気さくに話せる関係が構築されています。また、職員会議後には必ず、職員から意見を聞く時間を設けている他、会議時には法人の副理事長が参加しており、現場職員からの声を吸い上げて、運営に反映させています。職員との個人面談は必要に応じて都度行うようにしています。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	給与水準に関しては、一般企業に比べ全体的に低いが、職員が働きやすいように整備に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修を積極的に勧め、資格を取得しやすい環境作りを進めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	同業者との交流が少ないため、ネットワーク作りをしようと考えている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者と話し合い、要望、気持ちに耳を傾け、より良い関係づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時、利用者のご家族との話し合いを大切にし、関係づくりをしている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	何を必要としているのか、よく聞き取りをし、必要としている支援の提供に努めている。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	共に暮らす家族のような関係を築けるように接している。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の生活について、家族と共有し、共に利用者本人を支える関係を築いている。			
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	外出を増やして、人や場所との関係を途切れないようにしてきたが、コロナウイルス感染防止のため、現況では外出等はできていない。	利用者にとって一番の馴染みは家族であり、事業所の外出行事の際には家族にも案内を出して参加を呼びかけ、一緒に外出できる機会を設けるようにしています。行きつけだった美容院がある方には個別対応でお連れするなど、馴染みの関係を継続できるように支援しています。また、民生委員や「シオン相模原協力会」の方々とも付き合いが長く、職員と入居者の馴染みの関係になっています。		今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士が楽しく過ごせるよう、話に耳を傾け、レクリエーションをしたり、共同で作業をし、支えあえるような支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族との関係を大切にし、必要に応じて、情報提供をし、相談や支援ができるように努めている。		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりがどのように暮らしていきたいのか、希望や意向を聞き、その人らしく暮らしていけるよう支援している。	入居前のアセスメントで、家族、本人、後見人、在宅時に利用していたケアマネージャなどから、生活歴や既往歴、趣味や嗜好品、暮らし方の希望などについての情報を聞き取り、入居後は日々の係りの中から思いや意向の汲み取りに努め、職員間で情報を共有しながら、可能な限り思いや意向に沿った支援に努めています。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの生活歴や生活環境、趣味や好きなもの嫌いなものなどを把握し、少しでも本人にあった環境づくりに努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の記録で健康状態、バイタルチェック、水分接種量、排せつ、日常の変化がないかなど、利用者の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回の職員会議において、利用者の健康状態や日々の生活、行動などを話し合い、職員同士で意見交換し、アイデアを出すなどして、介護計画に反映している。	入居時のアセスメントで得られた情報を基に初回の介護計画を作成し、2ヶ月程を目安に事業所での暮らしぶりやADL・IADLの情報に相違がないかなど、情報を収集しながら職員会議の中でモニタリングを兼ねて意見交換を行い、介護計画と利用者の現状にズレが生じないように見直しを行っています。ケアカンファレンスは職員が参加しやすいよう、今年から夕方開催とし、全職員の参加で行われています。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子や、ケアの実践、気づきや健康状態を、個別記録に記入し、個人の変化に気づけるよう努めている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人や家族の現状を把握し、本人が必要としているのは何かを考え、既存のサービスに捉われない柔軟な支援サービスに取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域との交流を大切にし、公園で一緒にラジオ体操をしたり、季節ごとに、近所の方々と一緒に出掛けたり、イベントに参加したり、楽しんで参加できるよう支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は、本人や家族への希望を大切にし、必要に応じて、ほかの病院へ受診できるように支援している。また24時間体制で、利用者に変化があれば、かかりつけ医に連絡を取り、対処できるように努めている。	入居時に事業所の協力医療機関について説明していますが、本人と家族の希望を尊重して主治医を決めていただくようにしています。相模原東クリニックから月2回の訪問診療があり、従来のかかりつけ医での受診を継続されている方や専門医は家族対応を原則とし、場合によっては職員対応で受診しています。歯科は必要な方のみ契約しており、毎週治療や口腔ケアを受けています。また、看護師は週1回利用者の健康管理をお願いしています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の変化や健康状態を把握し、気づいた点などを、訪問看護師に相談し、適切な看護が受けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院された場合には、病院関係者との情報交換や相談ができるように、連携をとっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	本人と家族に寄り添い、十分な説明とケアを提供し、最後まで安らかに過ごせるように支援する。	入居時には重度化した場合における指針に沿って説明し、事業所のできること・できないことを理解していただいたうえで同意書を取り交わしています。実際に重篤した場合は、家族・医師・管理者の3者による話し合いの場を設け、再度家族の意向を確認し、事業所での看取りを希望される場合には、情報を共有しながら穏やかな終末期を迎えられるようチームとして支援に取り組んでいます。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	24時間、利用者の急変や事故発生に備えて、施設内で訓練を行い、急変に備えて、対応できるように努めている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	火災訓練や災害時の訓練を、地域の方と一緒にしているので、協力体制はできている。	防災訓練は年2回、うち1回は消防署職員立ち合いの下に火災・地震・風水害なども取り入れながら実施しています。事業所で行う訓練にはシオン相模原協力会の方々にも参加していただき、災害時における役割なども確認しながら行っています。全居室にはヘルメットが常備されている他、水・食料・ラジオ・懐中電灯・衛生用品なども準備しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、言葉かけやプライバシーの保護に努めている。	事業所の理念にも「入居者中心に考えます」と掲げ、「よろこび、平安、寛容」をケアの柱とし、入居者一人ひとりの人格を尊重し、一人ひとりの個性を受け入れることで、その人らしさを大切にしたケアを心がけています。否定的な言葉を遣わない、排泄や入浴支援を行う際には羞恥心に留意しながら人格やプライバシーを損なうことのないよう常に話し合っ	今後の継続	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中で、本人の思いや希望に耳を傾け、自己決定できるように支援している。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員側の都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、本人の希望に沿った支援をしている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替えを選んでもらったり、季節や気分に合わせて洋服選びの支援をしている。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力を活かしながら、片付けを一緒にできるように支援している。	食材とメニューは業者に発注し、職員が調理しています。行事食の際には業者を止めて、自前で食材を調達し、入居者の希望に沿った食事を提供しています。調理師の資格を持っている職員もおり、時には畑で採れた作物や地域の方からいただいた野菜を一品作って提供しています。食事は楽しみの1つでもあることから、盛り付けや彩りも工夫しながら視覚でも食事を楽しめるように支援しています。	今後の継続	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者ごとの食事形態を把握し、食事量や水分量を毎日記録し、一人ひとりの食べやすい工夫をしている。管理栄養士のもと、食材を用意し、味付けや見た目など、状態に合わせている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	三度の食事の後には必ず、口腔ケアを行い、自立の方にも声掛けする。夕食後は、義歯の方は外して洗浄消毒をし、朝につけてもらう。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者一人ひとりに合った排せつ介助を行っている。トイレでできる方は誘導し、排せつ。全介助の方には、オムツ、パットの利用で、時間に応じて支援し、気持ちよく過ごせるようにしている。	各居室にトイレが完備されており、基本的には居室のトイレにて排泄介助を行っています。介護記録に排泄状況を記録し、介助が必要な方はその人に合わせたタイミングで声かけしてトイレ誘導を行い、自立されている方はご自身のタイミングで居室に戻り、トイレに行かれています。日中は極力オムツを使用せず、自立に向けた支援に注力しています。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排せつ記録は常に記入し、確認している。医師から処方された薬や、ヨーグルト、バナナ、牛乳やこまめな水分補給などチェックしている。適度な運動をしたり、腹部のマッサージを行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴前にはバイタルの測定。体調管理に気を付け、その方に合った手順で入浴介護を行っている。清潔を保ち、気持ちよく入っていただけるよう支援している。	入浴は午後からを基本とし、週2回の入浴を目安に支援しています。現在、2名の方は見守りで入浴されており、それ以外の方は入浴介助を行っています。入浴前には必ずバイタルチェックを行い、体調や入居者の意向を尊重しながら入浴支援を行っています。また、入浴後には脱水症状にならないよう水分補給をしていただくようにし、人によっては保湿クリームなども塗布しています。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夕食後の就寝時間は、それぞれ違うので、その方に合った就寝介助を行っている。時期に合わせた寝具や部屋の温度調節などに気を付けて、ゆっくり休んでいただけるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	朝昼夜就と個人の薬ケースがあり、2～3度確認を行い、服薬時にも、日付、氏名などを本人の前で読み上げ、内服していただく。飲み込みの悪い方には、ヨーグルトやトロミで行う。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	日常のアセスメントや、ケアプランなどから、利用者一人ひとりのできること、得意なことをお手伝いしていただく。レクリエーションでは、歌や塗り絵、トランプ、カラオケなど、楽しみ方を把握し、支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一年を通し、イベントや季節の花見など、スケジュールを組んでいる。コロナウイルスのため、調整中。	今年はコロナウイルスの関係で外出支援が行えない状況下ですが、毎年季節に絡めた外出行事などを計画しており、花見・いちご狩り・ブドウ狩り・イルミネーション見学・水族館見学の時には家族もお誘いして出かけています。また、外出時には法人の副理事長やシオン相模原協力会の方々による援助もあります。今年は職員のアイディアで、玄関先に造花を飾ってお花見、枝付きのいちごを入居者の目線に合わせて取れるようにしたいちご狩りを事業所内で行ったり、スイカ割り、花火など、工夫しながら四季や楽しめる行事を計画して行っています。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	預り金額の規定があり、必要に応じて、買い物や外出時に活用している。自立の方に関しては、必要であれば職員同行の上、買い物支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	利用者から家族へ電話がしたいという申し出があれば、事務所の電話を使えるように支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	庭には、花や草木、野菜を植えたり、また収穫した野菜を食事提供したり、季節感を感じる工夫をしている。	共有空間は職員のアイデアを積極的に取り入れ、入居者と作成した季節の作品や、書道の作品、外出時の写真などが飾られています。食卓テーブルも入居者同士の相性なども考慮して、一つの島にするのではなく、数ヶ所に分けることで集中して食事が摂れるように工夫されています。また、入居者が安全・安心して生活できるよう十分な動線も確保され、快適に過ごせる共用空間作りがされています。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用者一人ひとりが居心地が良いと感じられる環境づくりのため、椅子やソファの配置や、テレビやカラオケなどを楽しめる空間の工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に、利用者本人と家族と相談しながら、自宅で使用していた家具やテレビなど、使い慣れたものを使用し、思い出の写真や品物を飾ったりして、本人が居心地よく過ごせるように工夫している。	各居室は13畳と広く、家具などを持ち込まれてもゆったりと生活できる広さがあります。エアコン、クローゼット、トイレ、ベッドは完備されているので、入居時には、テレビ、整理ダンス、写真、仏壇など本人の思い出のある物や、使い慣れた物を持ち込んでいただくように勧めています。持ち込まれた家具や調度品は、在宅時と同じような位置に配置され、落ち着いて過ごせる空間作りがされています。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	テーブルやいすなどの家具の配置や車いすの置く場所、歩行の邪魔にならないように足元に危険なものをおかないなどの工夫をしている。		

目 標 達 成 計 画

事業所

特定非営利活動法人
グループホームシオン相模原

作成日

令和2年10月8日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における 問題点、課題	目 標	目標達成に向けた 具体的な取組み内容	目標達成に 要する期間
1	26	新型コロナウイルスにより御家族との長い時間の対応ができず介護計画書の説明ができなかった。	御家族お一人お一人に対応できる時間の確保。	ご家族をお呼びできるよう早いコロナウィルスの収束を願い、よりよい介護計画を立てていく。	1年間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。